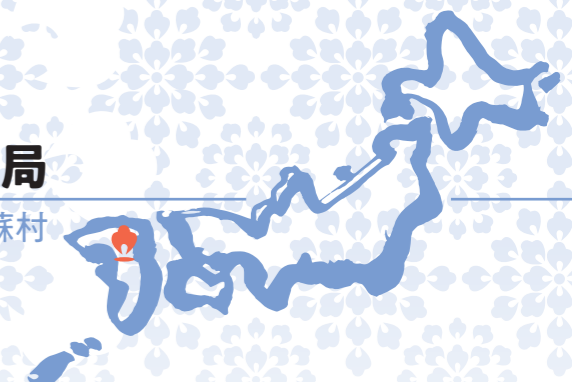


12 南阿蘇・立野ダムインフラツーリズムの実践

～地元密着・自立運営型での商品開発と運営～



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

1 社会資本の概要

立野ダムは県都の熊本市を流れる一級河川白川、その沿川の洪水被害を防ぐことを目的とした洪水調節専用ダムです。令和5年の完成を目指し、現在24時間体制で建設が進められています。立野ダム建設工事は昭和58年に着工され、令和2年10月にダム本体コンクリートの打設が開始されました。流水型ダムとしては完成後国内最大級の大きさと

なり、全国で豪雨被害が多発する中、自然環境と防災の両立の面からも注目を集めているダムです。

また、建設地である南阿蘇村立野地区は平成28年の熊本地震によって大きな被害を受けたエリアでもあり、同地区に建設された新阿蘇大橋は復興のシンボルとなっています。



建設中の立野ダム



復興のシンボル新阿蘇大橋



建設が進む様子

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

南阿蘇村は震災遺構を保存し、被災エリアとして教育旅行などを通じて防災の呼びかけを行ってきました。ダム工事現場内にも熊本地震断層跡があることや、立野ダムの持つ水防災機能の話は防災とも親和性が高く、セットで展開することで高い集客力を発揮しています。

ガイドプログラムは「みなみあそ観光局」が運営

主体となり、販路として旅行代理店とも連携することで、継続的な受け入れ・販売体制を構築してきました。ダムガイドは地域住民から募り、立野ダム工事事務所職員が講師となった現場研修を定期的に行っています。また下流で恩恵を受ける白川河川流域の熊本市と企画を行うことで、立野ダムを地域間連携のきっかけとしても活用しています。



震災直後の南阿蘇



防災教育の実施



定期的に行うガイド研修

3 活動の成果や波及効果等

インフラツアーでの受け入れ実績累計500人以上を達成、また建設中ならではの夜間工事の様子を売りにした「南阿蘇・夜のインフラツアー」は「デミーとマツの土木広報大賞2020」にて優秀賞(イベント部門1位)を受賞しました。実際の立野ダム本体図面をデザインした「ダムTシャツ」をはじめとしたグッズも展開し、人気を博しています。

また、地元となる立野ダムの右岸(南阿蘇村)と左岸(大津町)の交流も兼ねた、両町村の子供たち向けの水防災・ダム見学企画である「夏の学校」も実施するなど連携が広がっています。



立野ダムインフラツアー



「南阿蘇・夜のインフラツアー」実施



夏の学校



ダムTシャツ

喜びの声



受賞者

一般社団法人
みなみあそ観光局
代表理事
丸野 健一郎

コメント

立野ダム工事事務所や南阿蘇村の地元の方々と共に取り組んできた過程を評価いただき大変うれしく思います。これからも取り組みを継続し、その成果が地域に還元されるような仕組みをつくっていければと思います。

活動の内容

- 観光地域づくり
- 教育旅行、ツアー運営
- 人材育成
- 情報発信
- 観光案内

活動の経歴

- 令和元年 一般社団法人みなみあそ観光局 設立
ガイドプログラム開始
- 令和2年 「デミーとマツの土木広報大賞2020」
優秀賞(イベント部門1位)受賞
- 令和3年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞

所在地	熊本県阿蘇郡南阿蘇村久石2807
活動主体及び連絡先	一般社団法人みなみあそ観光局 TEL: 0967-67-2222 contact@minamiaso.info
対象となる社会資本	立野ダム